

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S～C		S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み</p>	<p>①全国規模の大会からアマチュアスポーツ大会の開催およびプロレスなどの興行や会社の式典などバランスのとれた日程調整を心がけ運営を行っている。（評価点：3点）</p> <p>②賑わいを意識した利用団体の誘致 ・昨年度になかった音楽イベントで施設を利用して頂いた。また、昨年度に引き続きイベント毎で正面ピロティにキッチンカーを出店し、賑わいを創出した。（評価点：3点）</p> <p>③ゴミの持ち帰り、分別を徹底。 節電対策として使用していない箇所の照明の消灯や事務所内の照明を間引いて運営している。 個人情報保護に関する研修を実施し、全スタッフが個人情報保護法を遵守する重要性を理解しマニュアルに基づく個人情報の管理を実施している。（評価点：3点）</p>	A	<p>①体育及びスポーツの振興や文化的な集会及び催物の場を意識した日程調整を行い、スポーツとにぎわいの殿堂を意識した運営を行っている。</p> <p>②新規イベントを誘致するほか、集客性の高いイベントの継続誘致を行い、賑わいの創出に寄与した。</p> <p>③提案どおり、環境保全活動として省エネ対策やごみの分別等に取り組むとともに、法令遵守の取り組みとして個人情報保護に関する研修等を実施できている。</p>	A		
		<p>①公平なサービス提供、対応状況</p> <p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>③感染拡大防止対策の徹底</p>	<p>①ホームページを定期的に更新し、また、インスタグラムを活用して、会館情報や教室情報を発信している。 施設の予約取得に関してはチェックリストを作成し、予約が公平になされているか、複数のスタッフによる監視を実施している。（評価点：3点）</p> <p>②高齢者が見やすいように案内用掲示物は大きな文字サイズで作成。 視覚障がい者団体利用の際は、正面ピロティの盲動鈴使用。 障がい者団体の減免措置などを配慮した体制を実施。（評価点：3点）</p> <p>③新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてから個人の判断に委ねられている為、利用者の判断とし、受付にアルコール消毒を設置している。（評価点：3点）</p>	A	<p>①ホームページやSNSを活用したタイムリーな情報発信を行うことができている。また、チェックリストの使用や複数職員による確認を徹底することでトラブルの防止に努め、高い対応水準を確保している。</p> <p>②障がい者団体の減免措置、案内掲示物の文字の拡大化や盲導鈴の設置などにより、高齢者や障がい者の利用促進が図られている。</p> <p>③アルコール消毒を受付に設置するなど、不安に思う利用者への対応ができている。</p>	A		
施設の効用を最大限発揮するための方策	③利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み</p> <p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和5年度実績：619,103人 令和6年度目標：650,000人 9月末現在実績：266,595人</p>	<p>①国際、全国大会規模の催物を誘致し賑わいの創出を図る 4月：オールジャパンシリーズ実行委員会（ドッジボール大会） 5月：全日本フルコンタクト空手道選手権大会 6月：全日本ウエイト制空手道選手権大会 7月：全日本ジュニア空手道選手権大会 WWEプロレス、吉本スポーツフェスティバル 8月：NEXZ JAPAN SHOW CASE 2024 全国中学生空手道選手権大会 9月：日本ハンドボールリーグ（リーグH） TEAYANG 2024 TOUR 10月：SV LEAGUE、国際親善バドミントン大会 11月：SV LEAGUE、全国空手道選手権大会 12月：JOCバレーボール大会、SV LEAGUE （評価点：2点）</p> <p>②季刊誌の発行・行事予定表の発行 デジタルサイネージの運用 （評価点：3点）</p>	B	<p>①利用者数見込みは約640,000人と目標値に届かないが、新規イベントの誘致を行い一定の成果をあげている。</p> <p>②大阪市バスの広告枠やデジタルサイネージを活用するなど情報発信の取り組みを実施している。</p>	B		
	④サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>①提案のあったサービス向上策の取組み</p> <p>②自主事業の取組み</p> <p>③施設設備、機能の活用</p>	<p>①デジタルサイネージによる施設の情報発信を実施。 授乳室、ワーキングスペースの設置継続中。 （評価点：2点）</p> <p>②ライフステージに応じた既存の教室を展開している。 （評価点：3点）</p> <p>③利用団体との打合せ時に利用にあった附帯設備の使用を促しております。 気持ち良く利用して頂けるように附帯設備の日常点検や清潔な管理を心がけている。（評価点：3点）</p>	A	<p>①授乳室やワーキングスペースの設置を継続し、利用者サービスの向上に寄与した。</p> <p>②利用者のニーズにあわせて、教室の受講回数を柔軟に選択できるように工夫し、継続利用につなげた。</p> <p>③利用者の目的に応じた附帯設備の案内を行い、施設設備・機能を活用につなげた。</p>	A		

施設名称：府立体育会館		指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	施設の効用を最大限発揮するための方策	(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	<p>①施設設備の効果的な維持管理</p> <p>②施設設備の安全管理</p> <p>③緊急時の危機管理体制</p>	A	<p>①休館日を利用し計画的に保守点検を実施し、施設運営に支障が出さず効率的に保守点検を実施している。</p> <p>②チェックリストを用いた、利用後の施設点検、備品確認を実施するとともに、月に1度スタッフや業者による点検も実施している。</p> <p>③大阪府警や大阪市、周辺企業等と連携し、地域の防災対策への協力やイベント開催の情報共有を行った。防災グッズを備蓄するほか、テナント職員を含め、施設としての消防訓練も実施している。</p>	A	
		(6)収入確保策の実施	<p>①広告収入等の収入確保策の取組み</p> <p>②提案どおり実施されているか。</p>	B	<p>①広告収入により収入確保策の取組みが実施できている。</p> <p>②トイレ広告の収入確保はできていないが、広告期間を年間単位から月間やスポットにも対応可能とするなど収入確保に向けた工夫を行っている。</p>	B	
	その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	<p>①『第3次大阪府スポーツ推進計画』に賛同し、ライフステージに応じたスポーツ教室を実施。</p> <p>『大阪府男女共同参画プラン』に賛同し、管理職に女性を登用。（評価点：3点）</p> <p>②知的障がい者の雇用（事務員1名）</p> <p>障がい者雇用率：シンコースポーツ株式会社3.15%</p> <p>障がい者サポートカンパニー制度に登録済み。</p> <p>大阪人材雇用開発人権センターへ加入済み。（評価点：3点）</p> <p>③地域の子ども安全見守りなど地域の防犯活動への協力（こども110）</p> <p>地域の祭りや町会への協力（評価点：3点）</p> <p>④リサイクル用紙や裏紙を継続して使用し、ごみの発生を削減している。第1・2競技場のLED照明による電気使用量・CO2を削減。外気温や利用者数に応じた空調設備などの間欠運転を実施し、節電に務めた。また、エコキャップ運動の取組も継続しています。（評価点：3点）</p>	A	<p>①大阪府スポーツ推進計画に基づき、ライフステージに応じたスポーツ教室を実施し、スポーツ実施率の向上、参画人口の拡大に寄与している。また、大阪府男女共同参画プランに基づき、管理職に女性を登用している。</p> <p>②障がい者雇用の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率を達成できている。</p> <p>③大阪市、周辺企業と連携し、地域の防犯活動や祭りに協力した。</p> <p>④SDGs 17の目標のうち、11「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任 つかう責任」、14「海の豊かさを守ろう」に関する取組みを行っている。</p>	A	
I 総括			7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A	

施設名称：府立体育会館		指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①利用団体、教室受講者にアンケートを実施予定（10月～2月） （評価点：3点） ②昨年の調査結果を受けて1階西門の扉を修繕しました。 （評価点：3点）	A	①良好な結果であり、利用者満足度の向上に寄与している。 ②調査結果を受けて改善に着手した。	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R5実績：5,701人、上半期実績：3,024人 R6目標：5,200人、上半期実績：2,847人 〔指標2〕自主事業収入状況 R5実績：8,535,585円、上半期実績：4,580,268円 R6目標：6,600,000円、上半期実績：4,157,260円	①本場所開催施設として公益財団法人日本相撲協会との連携により、大相撲カレーなどの物品販売を実施しております。 キャンセル枠等にバドミントン開放DAYを実施。	A	①利用者のニーズにあわせて、教室の受講回数を柔軟に選択できるように工夫し、利用者の確保に努めており、目標が達成できる見込みである。	A	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①教室受講料や物販ご購入の際の支払い方法に電子決済に加え、クレジットカード決済を導入しました。 付帯設備にない用具の貸し出しとしてレンタル備品の貸出を継続実施中。（ビブスやマーカークォーンなど） 施設敷地内スペースにおいてバイクシェアポートを継続実施中。 （評価点：3点）	A	①支払い方法の追加や備品貸出、バイクシェアポートの継続設置等により、利用者の利便性を高めている。	A	
	II 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）	
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R6収支計算書 ・収入 プロポーザル：435,600千円、見込み：396,855千円 ・支出 プロポーザル：435,600千円、見込み：398,900千円 ・納付金 プロポーザル：150,000千円、見込み：150,000千円	① 事業収支及び見込み 《令和6年度：対プロポーザル比》 収入： 91.1% 支出： 92% 納付金：100% 見込み：150,000千円	B	①光熱水費や人件費の高騰により支出増加の中でも大きな計画との差異はない。	B	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①総括責任者1名、事業運営3名、営業開発1名、清掃1名、設備（外部）1名、清掃（外部）5名、警備（外部）2名 ※時期により変動あり。（評価点：3点） ②総括責任者が施設に常駐し、業務全体を管理。総括責任者が大阪府の窓口となり要望や指示等に対して対応。また、副責任者を置くことで責任者不在時でも対応できるようにバックアップ体制を取っている。（評価点：3点） ③CPR、AED研修を実施 新人スタッフ研修（新人スタッフ研修カリキュラム） コンプライアンス研修、業務研修、（eラーニング） （評価点：3点）	A	①適切な管理体制、配置をとることにより、円滑な管理運営を実現できている。 ②管理体制が整っており、部門ごとに担当者を置くことで、全体的な業務推進がなされている。 ③職員の質の維持向上のための各種研修を実施できている。	A	

施設名称：府立体育会館		指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
る事項	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	①代表企業の経常利益は創業以来黒字であったが、諸般の理由により令和4年度は赤字での決算となった。令和5年度では企業活動に必要な「利益」を生み出す体質に戻り、単体での黒字化を目指し事業に取り組み約6,000万円黒字の結果となった。電気料金をはじめとしたコスト高については、省エネ施策を行いながら1日でも早い解消を願いつつ、令和6年度においては売上高159億円（単体98億円）営業利益4.3億円（単体1.6億円）を目指し取り組んでいる。 ②光熱費の高騰により、少なからず影響を受けているが、構成企業については黒字決済となっている。 （評価点：2点）	B	①②原油価格高騰や最低賃金上昇への対応等の影響で代表企業の令和4年度決算状況は悪化していたが、令和5年度には回復しており、その他構成企業についても光熱費の高騰の影響を受けてはいるが概ね安定していると認められる。	B	
年度評価					B		